

『平成23年度 立山砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会』を開催

平成24年2月15日(水)に、富山県民会館において「平成23年度 立山砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会」を開催しました。

この発表会は、砂防工事における安全施工管理技術の向上と安全対策や創意工夫などの情報共有を目的として、平成11年度より開催し、今回で13回目の開催となり、関係者約160名が参加しました。

本年は34編の応募論文があり、その中から他の工事の見本となるものや参考となるものという観点から、発表を行う8編の論文を事前に選考しています。

工事現場では、常に危険が伴います。そのリスクを出来るだけ少なくするために、各工事現場ではそれぞれ創意工夫を行っています。

そのような、今年度の工事で行った安全を確保するための技術などについて、発表者はスクリーンを使用しながら熱心に発表を行い、審査委員や会場からの質疑にも丁寧に答えていました。

審査は、審査委員6名が別室にて厳正なる審査を行い、表彰者を決定しました。

【審査結果】

★最優秀賞★

酒井建設(株) 平井 直人

「常願寺川妙寿砂防堰堤改築工事におけるリスクアセスメントについて」

★優秀賞★

辻建設(株) 伊東 聡史

「平成22年度 兎谷第1号砂防堰堤補強工事における安全対策について」

新栄建設(株) 唐島田 幸治

「法面工事における安全対策について」

★奨励賞★

松本建設(株) 酒井 健興

「多枝原谷における法面崩壊を防ぐ安全対策について」

石黒建設(株) 兎田 寛樹

「砂防堰堤工事における安全対策について」

水新建設(株) 山本 龍仁

「平成23年度 真川護岸山腹(その2)工事における安全対策について」

新栄建設(株) 臼井 健隆

「砂防軌道新鬼ヶ城トンネル工事における安全対策について」

北陸通信工業(株) 中村 公信

「CCTV設備設置作業での安全対策と工夫について」



論文発表の様子



表彰



記念撮影

表彰されました皆様、おめでとうございます。いろいろ苦勞し、考え抜かれた安全技術ばかりであり、皆さんの安全に対する高い意識が伝わってきました。

今回の安全施工管理技術研究発表会や以前の論文も参考に、工事の安全に努めるとともに、今後の安全技術の向上のため、さらなる研究成果を期待しています。